

## 学生たちの成長が感慨深い季節

学科長 矢澤 達宏

「お世話になりました！」 「頑張ります！」 そう言う卒業生たちの顔を見ると、みな晴れやかで、それぞれの達成感が滲み出ています。そこに至るまでの苦勞、迷い、挫折——。そんなときの表情がおのずと思い起こされ、目の前の自信と希望に満ち溢れた顔と重ね合わせるにつけ、学生たちの成長をつくづく実感させられます。

ほかにも、留学から帰国した学生の、まるで生まれ変わったような顔つき。これから留学に出発する学生の、期待と不安が入り交じった表情。希望の会社から内定を勝ち取った学生の、少し大人びた立ち居振る舞い。進路に思い悩む学生の、真摯でひたむきな姿——。春はそんな、それぞれの美しさに心動かされます。

そして、新入生の皆さんの初々しいなかにも緊張感の漂うたたずまいもまた、毎年のことながら、目にまぶしい光景です。上智大学ポルトガル語学科に入学された皆さん、ようこそ。希望通りであれ、結果的にであれ、上智ポル語を選択したあなた方はなかなかよいセンスをしています。あなた方が足を踏み入れようとしているポルトガル語圏ワールドは、世間では地味にみられがちかもしれませんが、でも、知られていない（知ろうとしない）だけで、じつはポルトガル語圏はわたしたちの想像をゆうに越えてしまうほど多彩で、そのどの部分をとってみても底なしの魅力に溢れた奥の深い世界なのです。あなた方はそのあたりをなんとなく感じとったのではないのでしょうか。そして、そのワンダーランドを巧みにナビゲートしてくれる先生方がこの学科には揃っています。センスはあるあなた方に、あと必要なのは意欲と頑張りです。目の前にある宝の山から自分にとってかけがえのないものを見つけ出すには、強い意思と根気が欠かせません。大学での生活に慣れてくると目先のことにとらわれ、周囲に流され、目標を見失うこともあるでしょう。強い気持ちでそれを乗り越え、数年後の春にはひと回りも二回りも成長した晴れやかな表情をどうか見せてください。

在学生の皆さんは、*escada* を一段のぼり終え、次なる一段を前にしています。前の一段で苦勞した人も、大きな飛躍のあった人も、あたらしい一段には気持ちを新たにしてください。失敗は取り返すことができます。取り返すだけでなく、その何倍も大きな飛躍を遂げるためのエネルギーにさえなります。実際、そういう学生たちを何人も目にしてきました。過ぎた挫折をひきずっていつまでも腐っているなら、それこそまさに敗北です。前の一段を充実したものにできた人も、そのことでいつまでもうぬぼれているようなら、次の一段を思いもかけず踏み外すなんてことにもなりかねません。謙虚に、しかし自信を持って。

一年後、また一段のぼり終えた後の皆さんの姿を楽しみにしています。